

第5章 文化財の保存・活用に関する措置

1 文化財の保存・活用に関する措置

「2. 文化財の保存・活用に関する方針」を踏まえ、市内の文化財等の状況に応じて、実施すべき保存・活用に関する措置と実施主体、財源、計画期間での実施時期を示す。実施時期は、緊急性の高い措置や、これまでの取組みの延長線上にある措置については前期で実施し、比較的緊急性の低い措置や新たな取組みが必要な措置、他機関との調整が重要な措置については中期・後期で実施することを検討する。措置は、市費、県費、国費（文化財補助金・地方創生推進交付金等）、その他民間資金等も活用しながら進めていく。

文化財の保存・活用に関する方針		文化財の保存・活用に関する措置
方針1 調査	方針1-1 学術的調査・研究活動の強化	1. 調査・研究の継続 2. 中近世の城館・社寺に関する調査・研究 3. 近代産業の関連施設に関する調査・研究
方針2 保存・管理	方針2-1 市指定等の推進	4. 文化財の市指定の推進 5. 「日立市民文化遺産」登録の推進 6. 『増補・改訂版 日立市民文化遺産ガイドブック』の作成
	方針2-2 財源及び収蔵施設の確保や支援	7. 文化財の保存や活用に関わる財源確保 8. 老朽化した日立風流物収蔵庫の整備 9. 保存に関する団体等への支援
	方針2-3 防災・防犯対策の推進	10. 指定等文化財を優先とした防災・防犯設備の設置 11. 文化財防災体制の充実 12. 防犯のための文化財定期巡回の実施
方針3 教育普及	方針3-1 保存・継承に携わる人材の確保	13. 文化財研修事業への専門家派遣 14. 文化財を守る人材育成支援 15. 文化財を扱う保存団体等の育成支援
	方針3-2 児童・生徒に向けた教育の強化	16. 日立市郷土博物館職員や文化財技術者、専門家等による出前授業 17. 日立市郷土博物館や地域の文化財を訪れる校外学習 18. 子供たちによる新たな芸能の創出と発表 19. 文化財啓発映像の動画配信・公開 20. 歴史文化児童絵本の作成 21. 文化財クイズラリーの開催
	方針3-3 大人に向けた生涯学習の強化	22. 歴史文化講座の実施 23. 「ひたち生き生き百年塾」の活動強化
	方針3-4 文化財を活用する取組等への市民参画	24. 歴史文化の特徴に関する検定試験の実施 25. 文化財に関するAR画像・映像の作成コンテストの実施 26. 地域の小字名に関する調査・研究 27. 身近な伝承や信仰に関する調査・研究 28. ボランティアとしての市民ガイドの育成 29. 市民ガイドによる文化財ツアーの開催 30. 市民ワークショップによる新たな歴史文化の特徴の発見
方針4 地域振興	方針4-1 周辺の観光施設等を結ぶ周遊性の確保	31. 日立市文化財回廊の設定 32. サテライトガイド（ビジターセンター）の整備 33. 統一デザインの説明板・案内板の設置 34. 遺跡等におけるARを利用した仮想展示 35. 2次元バーコードによる周辺文化財や観光施設等への案内 36. 歴史文化の特徴の解説書・パンフレットの作成
	方針4-2 魅力を伝える地域発信型観光の推進	37. 日立市文化財保存活用地域計画の概要版パンフレットの作成及び市民への配布 38. 観光ホームページでの文化財の紹介 39. 文化財関連イベントを紹介するホームページの開設 40. 市内外に向けた文化財プロモーションの作成 41. 文化財に関する季節ごとの情報提供やイベントの開催 42. 市民から募集したイメージモデルと文化財の写真のSNS投稿 43. DMO 発足に向けた調整や支援 44. 日立市文化財回廊（文化財周遊ルート）周辺飲食店等との連携調整

「方針1 調査」に基づく措置

日立市郷土博物館がこれまで行ってきた文化財の調査・研究を今後も継続して実施するとともに、これまで調査・研究が十分に行われてこなかった中近世の佐竹氏及び水戸徳川家にまつわる城館・社寺や、近代産業の関連施設、地域の小字名や伝承等に関する調査・研究を行う。

「方針1-1 学術的調査・研究活動の強化」に基づく措置

番号	措置	実施主体	財源	前期 (2021~2023)	中期 (2024~2027)	後期 (2028~2030)
1	調査・研究の継続 地域の小字名や伝承等、調査研究のさらなる深化や充実	市・市民	市費			
2	中近世の城館・社寺に関する調査・研究 佐竹氏及び水戸徳川家にまつわる調査・研究	市	市費			
3	近代産業の関連施設に関する調査・研究 「大煙突」や工場施設等、近代産業の発展を支えた施設の調査研究	市	市費			

「方針2 保存・管理」に基づく措置

文化財の学術的な調査・研究によって、文化財保護法に基づく確実な保存が望ましいことが判明した文化財について、市指定等を推進するとともに、本市の未指定文化財の活用を目指し発行された『日立市民文化遺産ガイドブック（平成26年度（2014））』の取組みを継続し、新たな文化財の発掘・抽出を進める。

文化財の保存・活用を着実に進めるために、国・県の補助制度はもとより、文化財保護を目的としたふるさと納税の応援メニューの追加や、文化財の保存・活用に関わるクラウドファンディングの実施検討等の財源確保に取り組む。

また、本市を代表する文化財である「日立風流物」の適切な管理のための維持補修や、老朽化した収蔵施設等の整備をはじめ、市民団体が行う文化財の管理や維持・保存等に対し、適切な支援を行い、貴重な文化財の保護に努める。

文化財の防災・防犯対策については、火災や自然災害による文化財の損傷や滅失を防ぐため、防災・防犯設備の設置を進めるとともに、市民等を交えた防災訓練や定期巡回の実施に取り組む。

「方針2-1 市指定等の推進」に基づく措置

番号	措置	実施主体	財源	前期 (2021~2023)	中期 (2024~2027)	後期 (2028~2030)
4	文化財の市指定の推進 未指定文化財等の市指定の推進	市	市費			
5	「日立市民文化遺産」登録の推進 『日立市民文化遺産ガイドブック』に掲載する、新たな文化財の発掘・抽出	市・市民	市費			
6	『増補・改訂版 日立市民文化遺産ガイドブック』の作成 『日立市民文化遺産ガイドブック』の増補・改訂版を発行	市・市民	市費			

「方針２－２ 財源及び収蔵施設の確保や支援」に基づく措置

番号	措置	実施主体	財源	前期 (2021～2023)	中期 (2024～2027)	後期 (2028～2030)
7	文化財の保存や活用に関わる財源確保 ふるさと納税の応援メニューの追加 クラウドファンディング実施の検討	市	市費			
8	老朽化した日立風流物収蔵庫の整備 管理者による定期的な維持管理への支援、老朽化した収蔵施設等の整備	市	国補 市費			
9	保存に関する団体等への支援 文化財の所有者や文化財の保存・活用に関わる市民団体等が行う文化財の管理や維持・保存等に対する助成を実施	市	国補 県補 市費			

表：保存に関する団体等への支援（補助金）の例

基礎分（A）	活動分（B）	事業分（C）
団体の活動に対し一律（定額）の補助。	経常的に実施する活動内容に応じた補助。	積極的事業（改修、大規模修繕、臨時開催イベントなど）に対する補助。年次計画に基づく補助とし、予算の範囲内で対応する。

「方針２－３ 防災・防犯対策の推進」に基づく措置

番号	措置	実施主体	財源	前期 (2021～2023)	中期 (2024～2027)	後期 (2028～2030)
10	指定等文化財を優先とした防災・防犯設備の設置 消火器や防犯カメラ等の設置	市	国補 市費			
11	文化財防災体制の充実 災害に備えた連絡網の整備や防火訓練の実施	市・ 市民	市費			
12	防犯のための文化財定期巡回の実施 防犯及び早期に異常を発見するための定期巡回の実施	市・ 市民	市費			

「方針3 教育普及」に基づく措置

文化財に関わる市民団体やボランティアグループ等に対して、指導者・後継者の育成を目的とした、支援や研修等を実施するとともに、文化財の調査や保存修理等に関する専門性を有する人材や、文化財の継承に興味・関心のある人材を確保・育成するための広報・啓発を強化する。

小中学校等においては、市内に分布する文化財を実際に訪れ、見て、感じて、学ぶことのできる学習機会を増やすとともに、本市の生涯学習組織である「ひたち生き生き百年塾」等の活動を通じた学習など、本市の文化財や歴史文化に関する学習内容を充実させる取組みを実施する。

また、子供たちや若い世代が、文化財を身近に感じ愛着を持つことを促すため、動画配信等の新たな媒体を利用した文化財の普及啓発を実施する。

さらに、市民がやりがいを持って文化財の保存・継承に携わり、文化財についての興味や関心、知識を深める場として、楽しみながら参加できる事業を実施する。

「方針3-1 保存・継承に携わる人材の確保」に基づく措置

番号	措置	実施主体	財源	前期 (2021~2023)	中期 (2024~2027)	後期 (2028~2030)
13	文化財研修事業への専門家派遣 文化財を扱う団体等が開催する研修事業に専門家等の講師を派遣	市	市費			
14	文化財を守る人材育成支援 専門調査員や保存修理技術者等の育成支援	市	市費			
15	文化財を扱う保存団体等の育成支援 会員募集についてホームページ等での広報協力	市	市費			

「方針3-2 児童・生徒に向けた教育の強化」に基づく措置

番号	措置	実施主体	財源	前期 (2021~2023)	中期 (2024~2027)	後期 (2028~2030)
16	日立市郷土博物館職員や文化財技術者、専門家等による出前授業 小中学校等に対し有識者を講師として派遣	市・教育機関	市費			
17	日立市郷土博物館や地域の文化財を訪れる校外学習 社会科教育(校外学習)での文化財活用	市・教育機関	市費			
18	子供たちによる新たな芸能の創出と発表 伝統芸能を踏襲しつつ、子どもたちの興味関心に合った創作芸能による啓発	教育機関	市費			
19	文化財啓発映像の動画配信・公開 文化財をキャラクター化した映像を動画共有サービス(YouTube等)で公開	市	市費			
20	歴史文化児童絵本の作成 歴史文化の特徴の概要をまとめた子供向け絵本の作成	市・教育機関	市費			
21	文化財クイズラリーの開催 市内の文化財を利用した子供向けクイズラリーの開催	市	市費			

「方針３－３ 大人に向けた生涯学習の強化」に基づく措置

番号	措置	実施主体	財源	前期 (2021～2023)	中期 (2024～2027)	後期 (2028～2030)
22	歴史文化講座の実施 歴史文化の特徴に関する市民向け講座の実施	市・教育機関	市費			
23	「ひたち生き生き百年塾」の活動強化 市の生涯学習組織「ひたち生き生き百年塾」で取り組まれている「市民教授による生き生き講座」や「日立のまち案内人」等の活動を通じた文化財学習の強化	市・教育機関	市費			

「方針３－４ 文化財を活用する取組等への市民参画」に基づく措置

番号	措置	実施主体	財源	前期 (2021～2023)	中期 (2024～2027)	後期 (2028～2030)
24	歴史文化の特徴に関する検定試験の実施 市民参加による啓発イベントの開催	市・市民	市費			
25	文化財に関する AR 画像・映像の作成コンテストの実施 市民参加による文化財啓発素材の作成	市・市民	市費			
26	地域の小字名に関する調査・研究 現在の住居表示等から消えた小字名等の古い地名の調査・研究	市・市民	市費			
27	身近な伝承や信仰に関する調査・研究 市民参加による地域伝承等の調査・研究	市・市民	市費			
28	ボランティアとしての市民ガイドの育成 歴史文化や文化財に関する知識や情報を、市民相互に共有する機会の創出	市・市民	市費			
29	市民ガイドによる文化財ツアーの開催 市民が主体となった文化財関連イベントにおける知識の活用	市・市民	市費			
30	市民ワークショップによる新たな歴史文化の特徴の発見 市民主体の活動による身近な歴史文化に触れる機会の創出	市・市民	市費			

「方針4 地域振興」に基づく措置

同じ歴史文化の特徴を示す文化財や拠点となる施設、周辺観光施設等を結び、文化財の集積地を効果的に利用できる周遊ルート「日立市文化財回廊」を設定し活用することにより、文化財に対する理解を深めることはもとより、交流人口の拡大と地域の活性化を図る。

また、「日立市文化財回廊」を補完する取組みとして、日立市コミュニティ推進協議会が作製するコミュニティの「ふるさとマップ（22箇所）」を活用した「日立の魅力再発見ウォーク事業」や、ひたち生き生き百年塾による「日立のまち案内人」等と連携し、より魅力的な周遊性を創出する。

周遊の拠点となる施設をサテライトガイド（ビジターセンター）として設定し、周辺文化財の紹介資料や駐車場、トイレ、給水・休憩施設等の機能を整備する。快適な周遊を補助するため、文化財の説明や周辺観光施設等への案内を整備する。ARを利用した仮想展示については、地元の茨城大学などと連携して研究・開発に取り組む。

さらに、文化財や文化財関連イベント情報に簡易にアクセスできるQRコードを活用した情報発信に取り組むとともに、文化財観光と連動した経済活性化を図るために、事業者と連携し地域が積極的に観光に取り組む体制を構築する。

「方針4-1 周辺の観光施設等を結ぶ周遊性の確保」に基づく措置

番号	措置	実施主体	財源	前期 (2021～2023)	中期 (2024～2027)	後期 (2028～2030)
31	日立市文化財回廊の設定 文化財の集積地を効果的に利用できる周遊ルートの設定 「日立の魅力再発見ウォーク事業」、 「日立のまち案内人」との連携	市・ 市民 団体	市費			
32	サテライトガイド（ビジターセンター）の整備 周遊の拠点となる施設を整備し、周辺文化財の紹介資料や駐車場、トイレ、給水・休憩施設等の機能を整備（新設2か所、既存施設利用4か所）	市	国補 市費			
33	統一デザインの説明板・案内板の設置 表示デザインやロゴ等の統一 多言語標記対応	市	国補 市費			
34	遺跡等におけるARを利用した仮想展示 地元大学と連携したARコンテンツの作成	市・ 教育 機関	国補 市費			
35	2次元バーコードによる周辺文化財や観光施設等への案内 QRコードを利用した文化財情報の提供機能強化	市・ 事業者	市費			
36	歴史文化の特徴の解説書・パンフレットの作成 文化財に関する周遊に活かせる案内解説資料の作成	市	市費			

「方針４－２ 魅力を伝える地域発信型観光の推進」に基づく措置

番号	措置	実施主体	財源	前期 (2021～2023)	中期 (2024～2027)	後期 (2028～2030)
37	日立市文化財保存活用地域計画の概要版パンフレットの作成及び市民への配布 文化財保存活用地域計画を市民や事業者の共通理解として推進	市	市費			
38	観光ホームページでの文化財の紹介 SNS等を活用した文化財や文化財関連イベント情報へのアクセス環境整備	市・市民団体・事業者	市費			
39	文化財関連イベントを紹介するホームページの開設 文化財に関するイベント内容や周辺周遊コースを紹介	市	市費			
40	市内外に向けた文化財プロモーションの作成 観光要素を含む映像コンテンツ等の作成	市	市費			
41	文化財に関する季節ごとの情報提供やイベントの開催 一年を通じた継続的な情報提供とイベントの開催	市	市費			
42	市民から募集したイメージモデルと文化財の写真のSNS投稿 新たな媒体を活用した市民発の市内外への情報発信	市	市費			
43	DMO発足に向けた調整や支援 地域発信型観光を推進する体制の構築と支援	市・事業者	市費			
44	日立市文化財回廊(文化財周遊ルート)周辺飲食店等との連携調整 文化財周遊ルート利用者への観光サービス提供	市・事業者	市費			

2 現状・課題・方針・措置の対応関係

第4章「1 文化財の保存・活用に関する現状と課題」及び「2 文化財の保存・活用に関する方針」、第5章「1 文化財の保存・活用に関する措置」の対応関係は以下のとおりである。

現状	課題		方針		措置	
調査・研究	保存に関する課題	調査・研究活動の不足	方針1 調査	方針1-1 学術的調査・研究活動の強化	1. 調査・研究の継続 2. 中近世の城館・社寺に関する調査・研究 3. 近代産業の関連施設に関する調査・研究	
指定・登録		未指定文化財の保存	方針2 保存・管理	方針2-1 市指定等の推進	4. 文化財の市指定の推進 5. 「日立市民文化遺産」登録の推進 6. 『増補・改訂版 日立市民文化遺産ガイドブック』の作成	
適切な管理		管理のための施設の老朽化及び確保		方針2-2 財源及び収蔵施設の確保や支援	7. 文化財の保存や活用に関わる財源確保 8. 老朽化した日立風流物収蔵庫の整備 9. 保存に関する団体等への支援	
防災・防犯		防災・防犯対策の遅れ		方針2-3 防災・防犯対策の推進	10. 指定等文化財を優先とした防災・防犯設備の設置 11. 文化財防災体制の充実 12. 防犯のための文化財定期巡回の実施	
市民参加による文化財保存		保存・継承に携わる人材の不足	方針3 教育普及	方針3-1 保存・継承に携わる人材の確保	13. 文化財研修事業への専門家派遣 14. 文化財を守る人材育成支援 15. 文化財を扱う保存団体等の育成支援	
イベントの開催	ニーズに合ったイベントの不足	方針3-2 児童・生徒に向けた教育の強化		16. 日立市郷土博物館職員や文化財技術者、専門家等による出前授業 17. 日立市郷土博物館や地域の文化財を訪れる校外学習		
		方針3-3 大人に向けた生涯学習の強化		18. 子供たちによる新たな芸能の創出と発表 19. 文化財啓発映像の動画配信・公開 20. 歴史文化児童絵本の作成 21. 文化財クイズラリーの開催		
		方針3-4 文化財を活用する取組等への市民参画		22. 歴史文化講座の実施 23. 「ひたち生き生き百年塾」の活動強化		
		活用に関する課題		24. 歴史文化の特徴に関する検定試験の実施 25. 文化財に関するAR画像・映像の作成コンテストの実施 26. 地域の小字名に関する調査・研究 27. 身近な伝承や信仰に関する調査・研究 28. ボランティアとしての市民ガイドの育成 29. 市民ガイドによる文化財ツアーの開催 30. 市民ワークショップによる新たな歴史文化の特徴の発見		
普及啓発施設	文化財を学べる施設の機能不足・未整備	方針4 地域振興	方針4-1 周辺の観光施設等を結ぶ周遊性の確保	31. 日立市文化財回廊の設定 32. サテライトガイダンス(ビジターセンター)の整備 33. 統一デザインの説明板・案内板の設置 34. 遺跡等におけるARを利用した仮想展示 35. 2次元バーコードによる周辺文化財や観光施設等への案内 36. 歴史文化の特徴の解説書・パンフレットの作成		
情報発信	情報発信の脆弱性		方針4-2 魅力を伝える地域発信型観光の推進	37. 日立市文化財保存活用地域計画の概要版パンフレットの作成及び市民への配布 38. 観光ホームページでの文化財の紹介 39. 文化財関連イベントを紹介するホームページの開設 40. 市内外に向けた文化財プロモーションの作成 41. 文化財に関する季節ごとの情報提供やイベントの開催 42. 市民から募集したイメージモデルと文化財の写真のSNS投稿 43. DMO 発足に向けた調整や支援 44. 日立市文化財回廊(文化財周遊ルート)周辺飲食店等との連携調整		